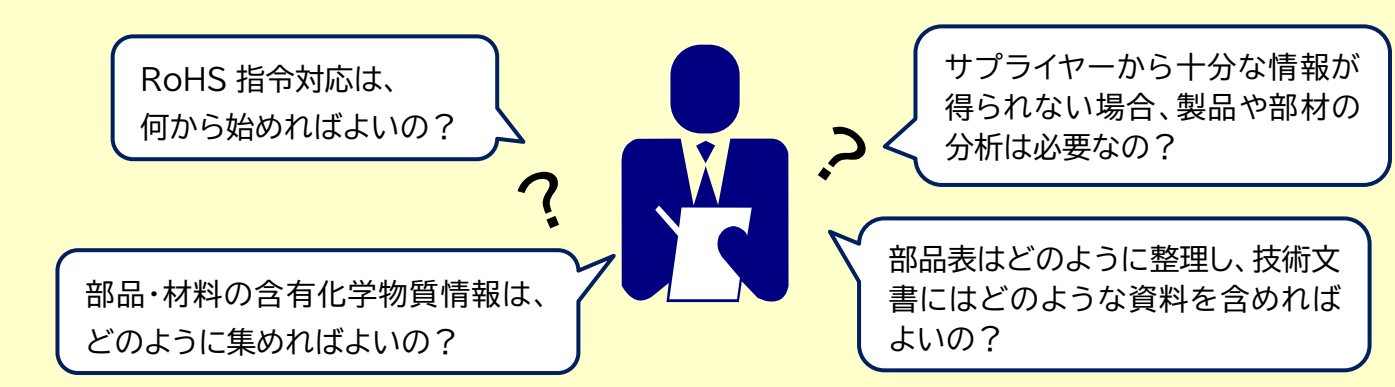
技術セミナー（リアル開催）

入門者のための RoHS 指令

～自社で進める対応手順と技術文書作成のポイント～



日　時　2027 年 1 月 21 日(木) 13:00～16:00

場　所　地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（本部）
東京都江東区青海 2-4-10
●ゆりかもめ「テレコムセンター」駅前
●りんかい線「東京テレポート」駅下車 徒歩 15 分
朝夕無料送迎バスあり、都営バス海 01 テレコムセンター駅前下車

申込締切日
2027 年
1 月 8 日
(金)

定　員　20 名

受講料　3,000 円

特徴

- EU 向け製品の RoHS 指令への対応を、これから始める方のための入門セミナー
- RoHS 指令と CE マーキングの基礎から情報収集、評価、技術文書作成まで、自社で進める対応の流れを解説
- 適用除外の期限や見直し状況など、RoHS 指令の最新動向を紹介

詳細は裏面またはこちら

お問い合わせ先

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター　お客様支援室　技術セミナー係
〒135-0064 東京都江東区青海 2-4-10　TEL:03-5530-2308
メール宛先：kenshu@iri-tokyo.jp

地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
TOKYO METROPOLITAN INDUSTRIAL TECHNOLOGY RESEARCH INSTITUTE

技術セミナー（リアル開催）

入門者のための RoHS 指令　～自社で進める対応手順と技術文書作成のポイント～

概　要

欧州向けに電気・電子製品を輸出する際には、製品に含まれる鉛、水銀、カドミウムなどの特定有害物質を制限する RoHS 指令への対応が必要です。RoHS 対応は、有害物質の不含有証明を収集するだけで完了するものではありません。サプライヤーから部品や材料に含まれる化学物質の情報を収集・確認し、その根拠となる資料を技術文書として整理・保管するなど、自社で継続的に管理することが重要です。本セミナーでは、これから RoHS 指令への対応を始める企業の担当者を対象に、RoHS 指令と CE マーキングの基礎から、自社製品が対象となるかの確認、サプライヤーからの情報収集、部品表の整理、技術文書や EU 適合宣言書の作成まで、自社で進めるための実務の流れを分かりやすく解説します。併せて、適用除外用途の見直しなどの最新動向、chemSHERPA や CMP（Chemical and circular Management Platform）の概要についても紹介します。

スケジュール

時　　間	内　　容	講　　師
13:00～16:00	・RoHS指令とCEマーキングの基礎 ・RoHS指令の対象製品と規制物質の確認 ・サプライヤーからの情報収集と確認方法 ・部品表の整理と技術文書の作成 ・chemSHERPA・CMPの概要 ・適用除外用途の見直しなどの最新動向	**anchor合同会社** **中山 政明 氏** （経歴） ・ 日本電気株式会社を経て、anchor合同会社を設立。中小企業の経営課題の解決支援に取り組んでいる。 ・ EU RoHS指令をはじめとする製品含有化学物質規制やCEマーキングへの対応支援、国内の中小企業支援施策の活用支援を専門としている。

募集要項

利用約款　下記ウェブページでご確認ください。
https://www.iri-tokyo.jp/seminar-event/

応募資格　原則として、日本で設立登記された法人、個人事業主または創業を予定している個人、国の行政機関、地方公共団体、独立行政法人等その他これらに準ずる公的機関

申込方法　下記ウェブページの申込フォームから、お申込みください。
https://www.iri-tokyo.jp/seminar-event/seminar-270121/

受講可否　受講予定者には、請求書およびコンビニ払込書を郵送いたします。
定員などの関係で受講をお断りする場合、電話または電子メールでご連絡いたします。